クリンナ ルックストーン

標準施工仕様

-									
工程	材 料 名	塗布量kg/m²	塗布回数	水希积%	塗装間隔H	塗 装 器 具			
素 地 調 整 埃、汚れ、油類等の付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整して下さい									
下塗り	ルックストーンアンダーフィラー	0.35~0.45	1	10%~15% (吹き付け)	- 3以上	ウールローラー・刷毛 万能ガン 口径 3~4mm			
				3%~8% (ローラー)		吹き圧 5kgf~ 6Kgf/cm (手元にて空気量微調整)			
上 塗 り	クリンナ ルックストーン	0.5 ~0.7	1	0	4以上	万能がシ ロ 径 5~6mm 吹き圧 2kgf~ 3kgf/cmi (手元にて空気量微調整)			

※万能ガンは「ふくペー」又は「ニューマルチガン」を使用して下さい。
※上塗りの際、他のガンをご使用になりますとパターン及び色が変わる可能性があります。

ローフール上時									
工 程	材 料 名	塗布量kg/m²	塗布回数	水希釈%	塗装間隔H	塗 装 器 具			
素 地 調 整 埃、汚れ、油類等の付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整して下さい									
下塗り	ルックストーンアンダーフィラー	0.35~0.45	1	10%~15% (吹き付け)	3以上	ウールローラー・刷毛 万能ガン 口径 3~4mm			
				3%~8% (ローラー)		吹き圧 5kgf~ 6Kgf/cm (手元にて空気量微調整)			
上 塗 り	クリンナ ルックストーン	0.7~0.9	1	0	4以上	砂骨ローラー (標準)			

【材料の調整】

- ・クリンナ ルックストーンは無希釈で使用して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。
- マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の撹拌機は絶対に使用しないで下さい。使用しますと模様を形成する粒子が破壊されます。
 ・一度に多くの塗布量を塗布すると割れの原因になることがありますので深目地等に施工される際は目地部分を先に拾い塗りして下さい。

【荷姿・容量】

ルックストーンアンダーフィラー

16kg ポリペール容器

35㎡~45㎡/缶

クリンナ ルックストーン

16kg ポリペール容器 26㎡~32㎡/缶 (吹き付け仕様の場合) 17㎡~22㎡/缶 (ローラー仕様の場合)

- ・上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りを行い確認して、本施工に入って下さい。・クリンナ ルックストーンは艶消しですが、下地や施工条件によって若干の艶が出ることがあります。

【注意事項】

- 気温が5℃以下の施工は造膜不良や割れの原因になりますので控えて下さい。
 湿度が85%以上で施工すると結構により白化やシミの原因になりますので控えて下さい。
 風速5m/SEC以上時の施工は割れの原因になりますので控えて下さい。
 風速5m/SEC以上時の施工は割れの原因になりますので控えて下さい。
 降雨・降雪は塗膜の流出の原因になり塗装後24h以内に降雪(5℃以下)がある場合などは塗膜が凍結する恐れがありますので、施工は控えて下さい。
 電流(直射日光が当たってる部位では表面乾燥が早くなりますので塗装を避けるか、シートなどで覆い、日陰での施工をお勧めします。
 事前に施工作業者全員で試し塗りを行い、パターンの統一及び施工工程などの条件を決めてください。
 塗り替えなどの場合は試験塗装を行い、使用量を決定してください。下地の状態や形状、面積、塗装方法などによって見本と色調、パターンが多少異なる場合があります。
 シーリング材の上への施工はシーリングの種類・材齢により塗膜が密着しない事があります。必ず逆ブライマーを塗布後、施工して下さい。又、シーリング材の成分により塗膜表面が汚染される場合がありますので注意して下さい。
 ・ シーリンにより、面内での塗り継ぎは、継ぎムラがおこりやすいので間隔を置かず素早く行って下さい。
 使用器具等は施工後ただちに洗浄して下さい。
 ・ シーラーは指定の材料をご使用ください。
 ・ 材料の保管は、直射日光及び凍結が心配される5℃以下での貯蔵は必ず避けてください。
 ・ (凍結した製品を使用しますと色のにじみが発生します。)

安全衛生上の詳細な注意事項は、安全データーシート (SDS) をご参照ください

